



## 読書名人への道 ⑤



### 「みずたまレンズ」 今森 光彦 福音館書店

みずの しずくが おちる しゅんかん。  
カエルが いけから ジャンプする しゅんかん。  
むしが みずたまに であった しゅんかん。  
うつくしい しゃしんに びっくりします。  
みずたまに うつつているのは なあに？

### 「あるひ あひるが あるいていると」

二宮 由紀子 理論社

「ある日 あひるが 歩いていると、頭に あなの あいた あんころもちが、足もとから あらわれて・・・」  
このお話は、ぜんぶ「あ」で始まる言葉で書かれています。  
けんかをした、あひるとあんころもち。  
「あ」で始まる言葉だけで、なかなかおりできるかな。

### 「氷石」 久保田香理 くもん出版

てんびょう  
天平9年。都には悪い病気がはやっていました。  
ちひろ  
千広は、川原で拾った石を、病気のなおる石といつわって、  
けんとうしせん とう  
通りで売っています。父は遣唐使船に乗って唐の国（中国）  
もど な  
へ渡ったまま戻らず、母も亡くなって、千広の心はすさんで  
もと  
いました。ところが、にせものと知りながら、その石を求め  
る少女があらわれて・・・。

### あとがき

けいろう  
15日は敬老の日。  
かつやく てんじ  
図書室では、おじいさんやおばあさんの活躍する本を展示しています。  
まほう  
ぼけたふりをしているおじいさんや、魔法でおばあさんに変えられて  
あ  
しまった女の子たちに、会いに来てみませんか？

